

平成18年度 関西電力グループ経営計画 説明会

平成18年3月29日

関西電力株式会社

※本資料に記載されている当社の業績予想および将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は、これらの見通しとは異なる結果となる可能性もあることをご承知おき下さい。

目 次

■平成18年度関西電力グループ経営計画について

○経営計画のポイント	1	
○グループ一体となったお客さま価値の創造	2	～ 12
(電気事業/ガス事業/情報通信事業/生活アメニティ事業/海外事業)		
○供給計画	13	～ 14
(電源開発計画/電力需給計画)		
○設備投資額の推移	15	
○財務体質の強化	16	

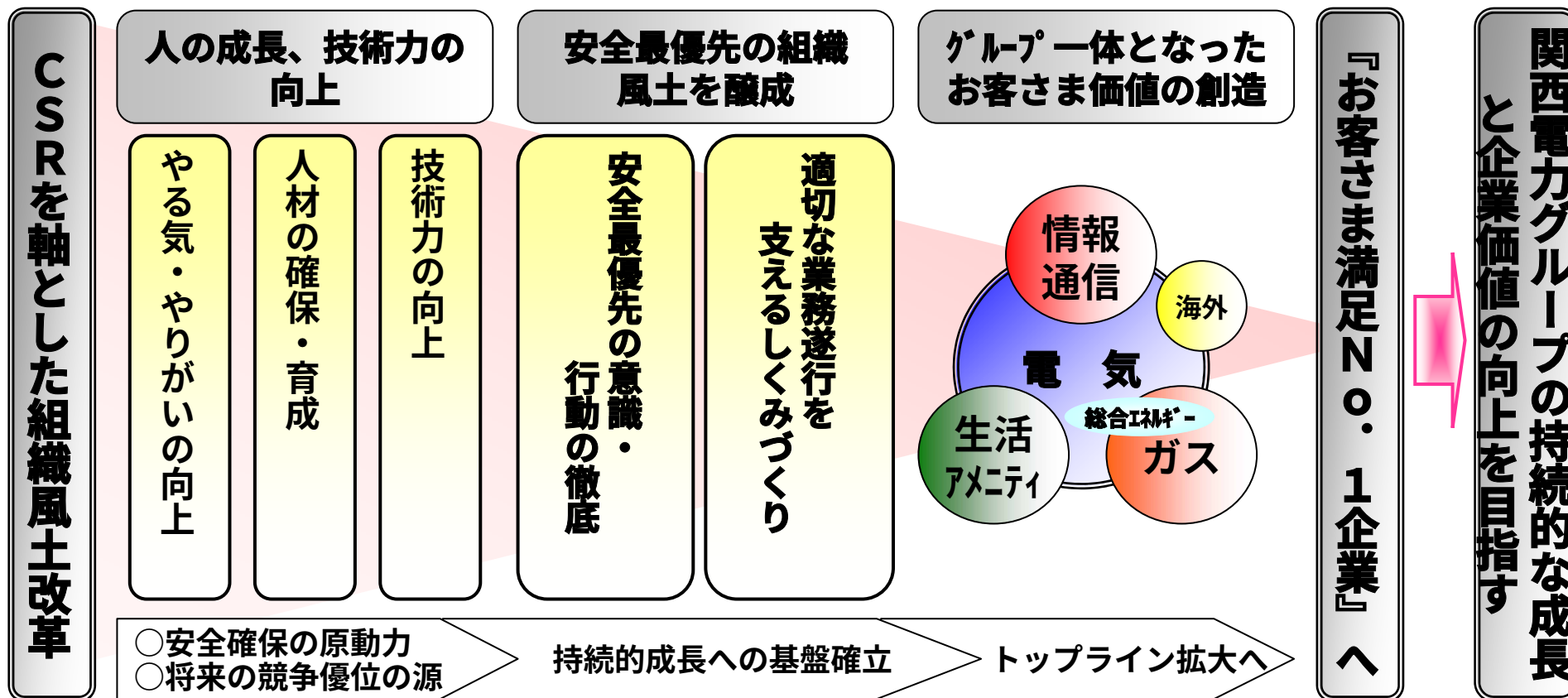
[参考]

・設備投資内訳 (単独)

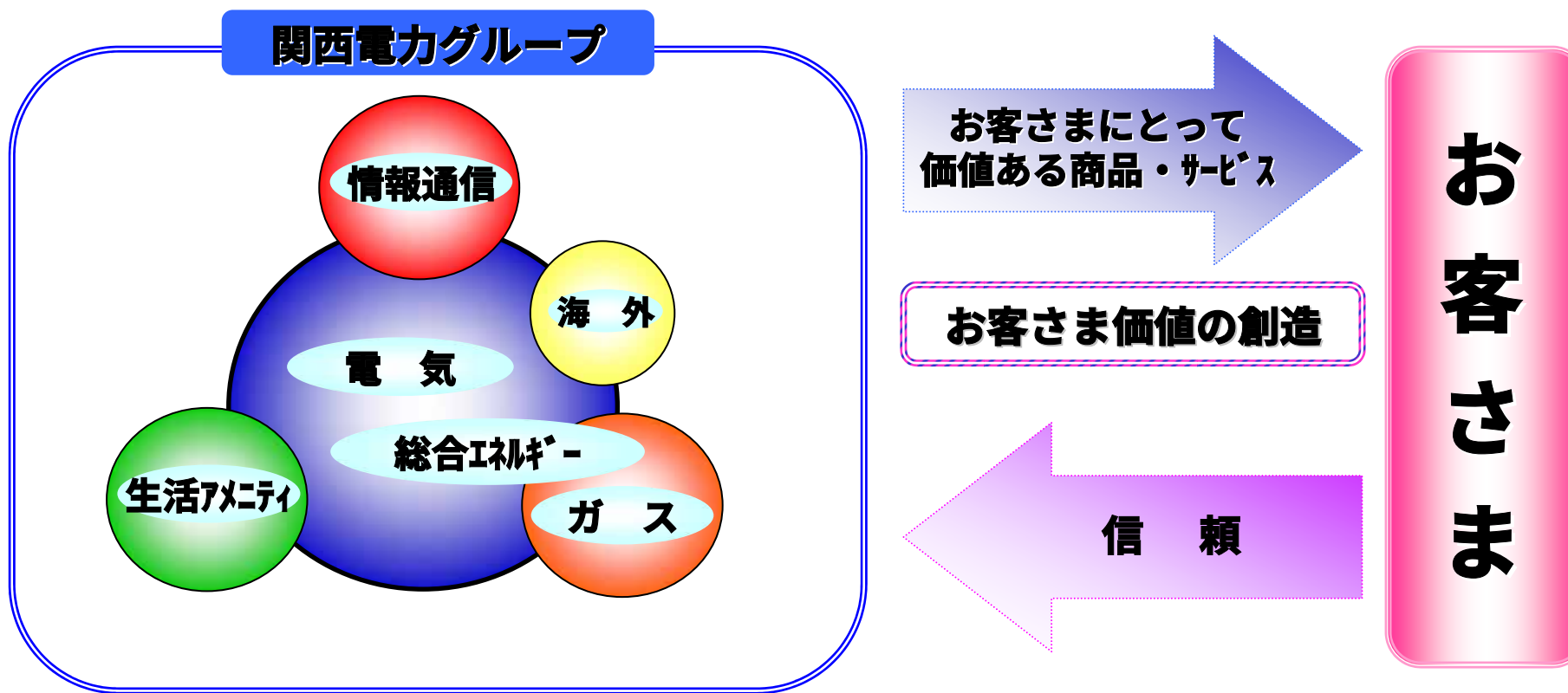
平成18年度経営計画の位置づけ

平成18年度：“持続的な成長に向けた新たなステージへと飛躍する転換期”

CSRを軸とした組織風土改革を進め、安全最優先の事業基盤のもと、人の成長・技術力の向上など、中長期の視点に立った施策を展開することにより、お客さま価値の創造を実現。

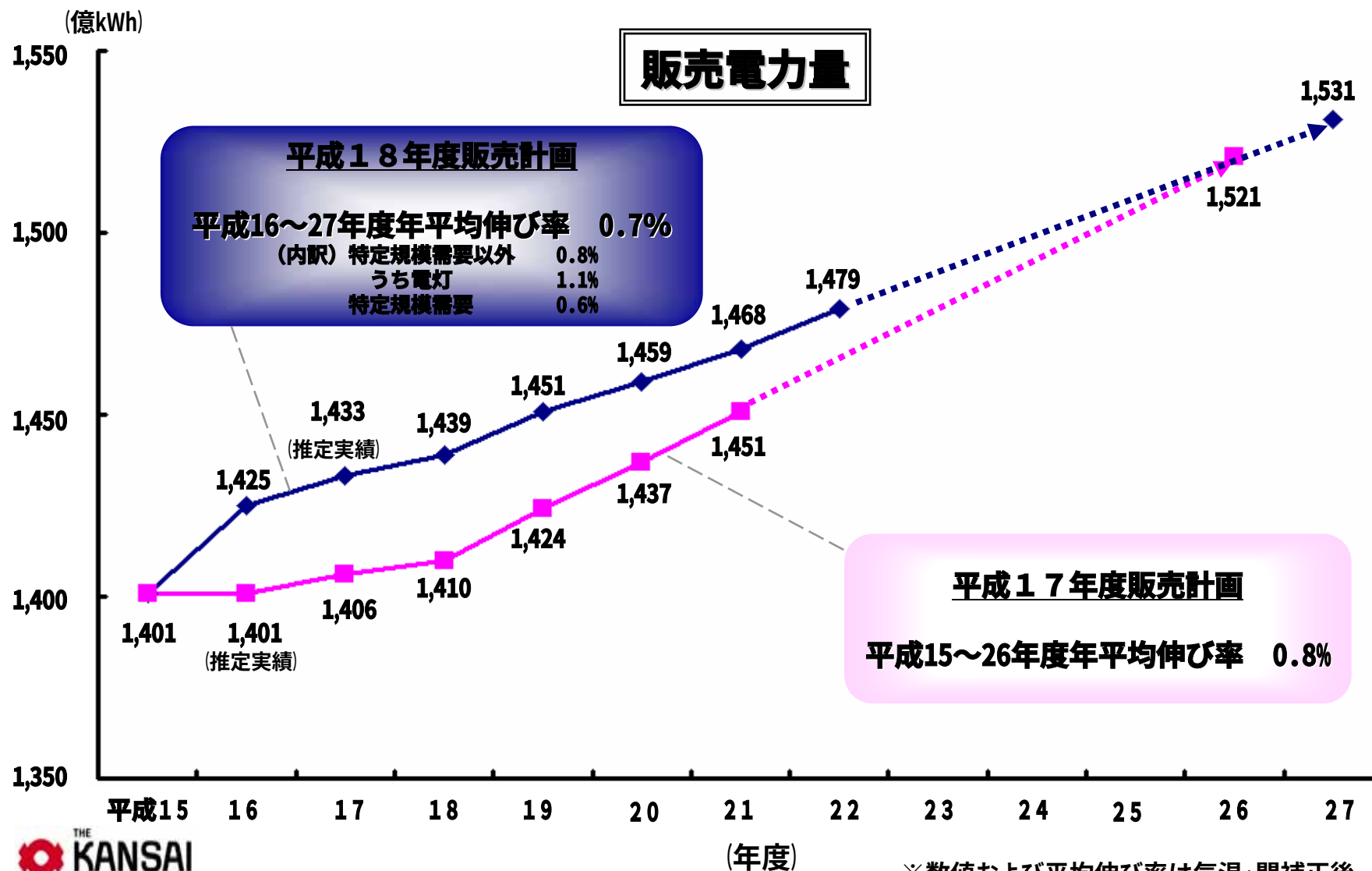


○お客さまから信頼を頂戴するとともに、各事業分野の戦略性を強化

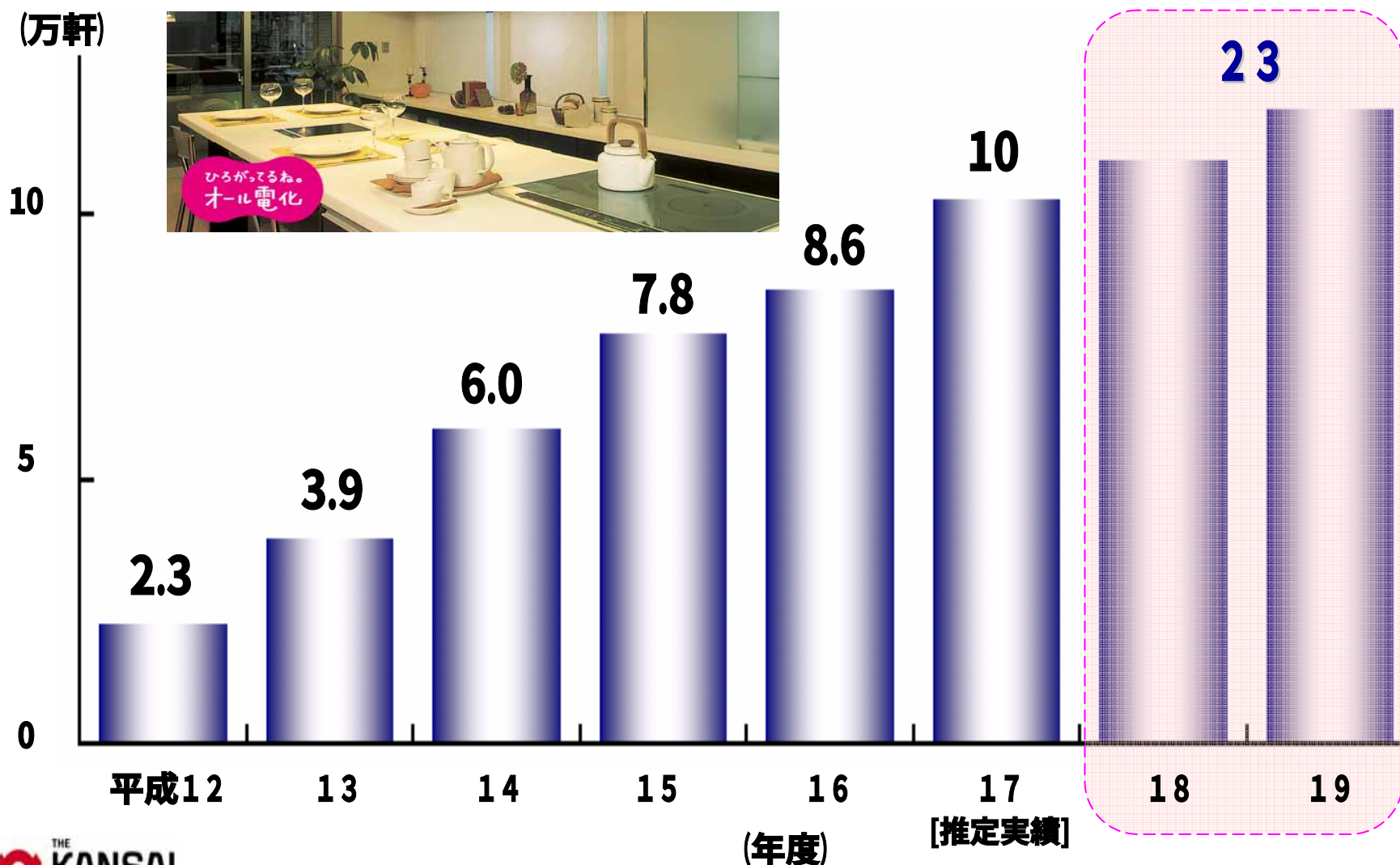


関西電力グループの持続的な成長

今後の電力需要は、民生分野を中心に緩やかに増加していくものと見込んでおります。



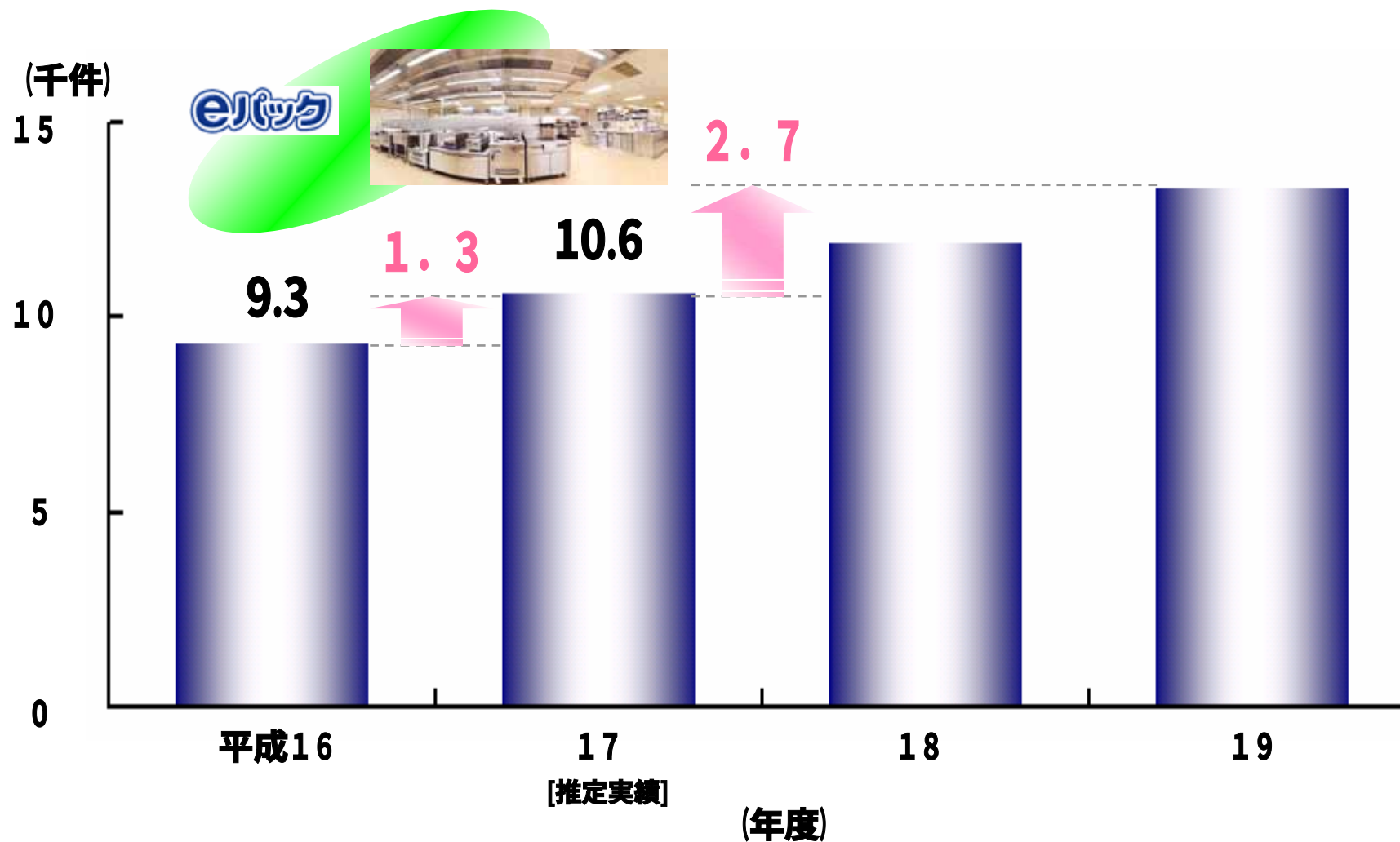
平成18～19年度の合計でオール電化住宅23万軒の獲得を目指します。



グループ一体となったお客さま価値の創造 —電気事業—
蓄熱システムをはじめとする電化機器・システム件数

5

平成18～19年度の合計で、蓄熱システムをはじめとする電化機器・システム(※)2,700件の獲得を目指します。



一般家庭のお客さま

魅力ある商品の開発を推進

- 「エコキュート」のさらなる高効率化・コンパクト化

オール電化の快適な暮らし実現をサポート

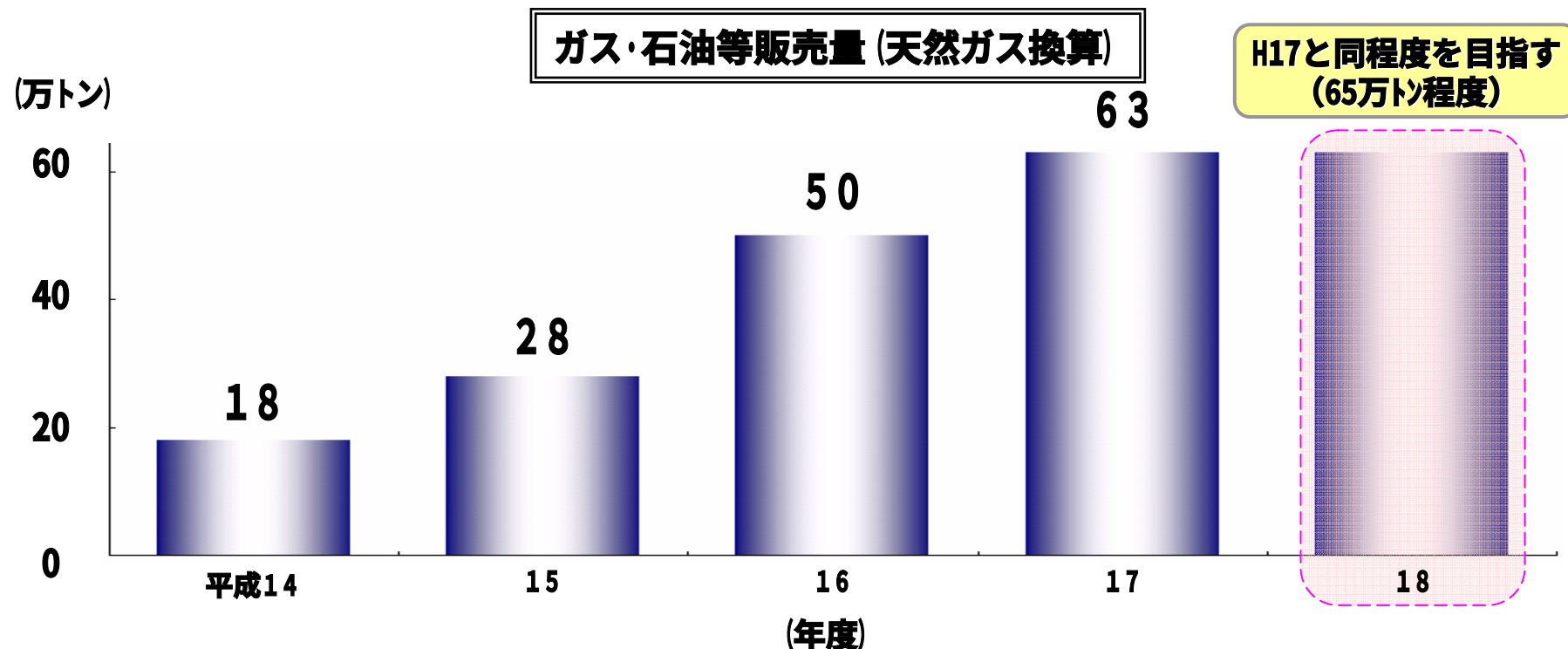
- 住宅用電化機器のリースサービス
- 電化リフォーム費用のクレジットサービス「はぴeリフォームローン」



ビルや工場などのビジネスのお客さま

お客さまのさまざまなニーズに応じた最適なサービス・メニューの提供

- 空調、給湯、厨房などの電化機器・設備全般を対象としたリースサービス「eパック」
- エネルギー診断、瞬時電圧低下対策

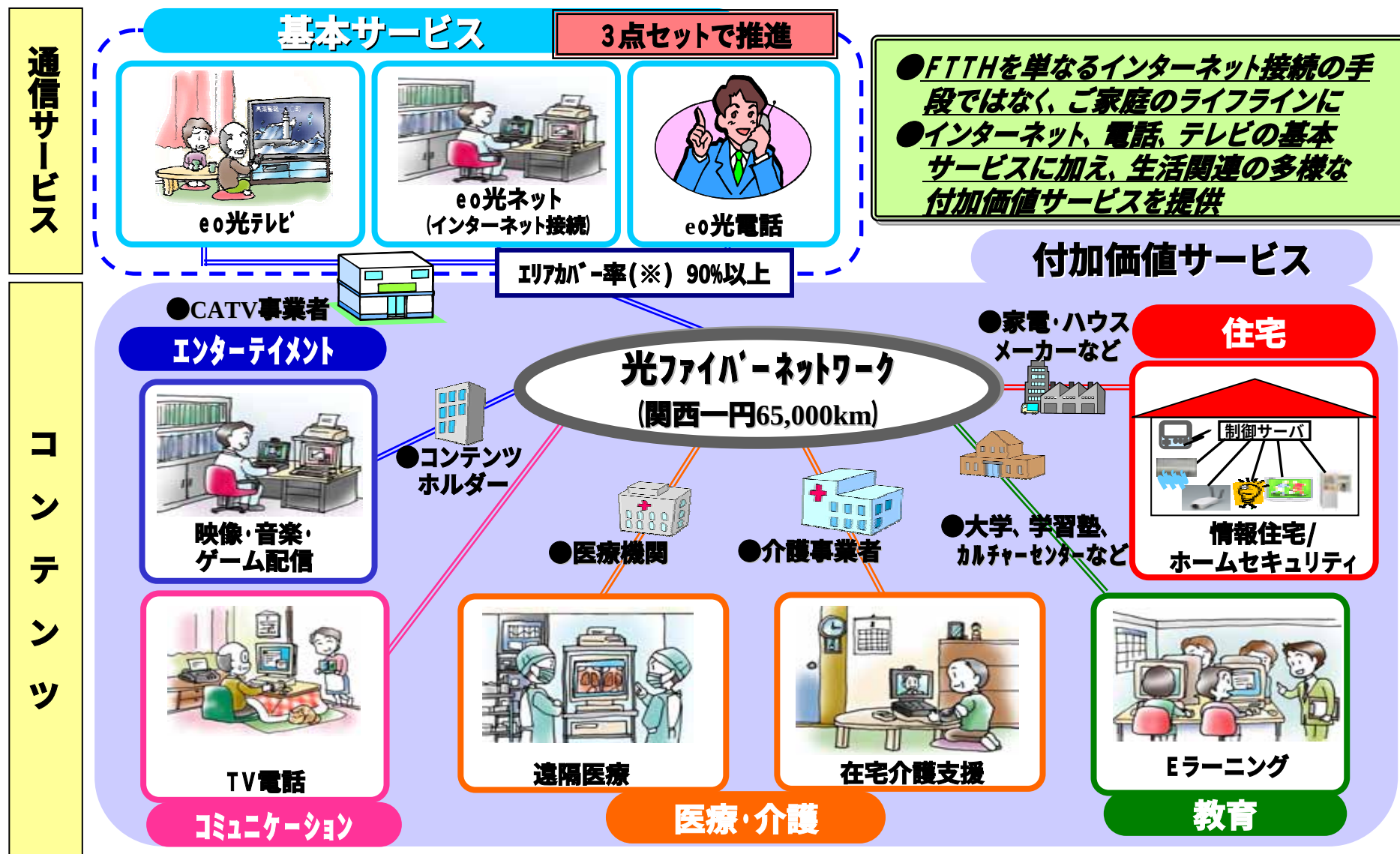


販売量確保に向けた方策

- 関電GASCOを通じた、総合エネルギー・サービスの推進
- 堺LNGセンターを活用した事業領域の拡大
 - 姫路LNGセンターに続く、ガス事業の第二の拠点として活用
 - LNGの気化により発生する冷熱の販売を促進（ハイドロエッジ）

グループ一体となったお客さま価値の創造 —情報通信事業— F T T Hを軸とした情報通信事業

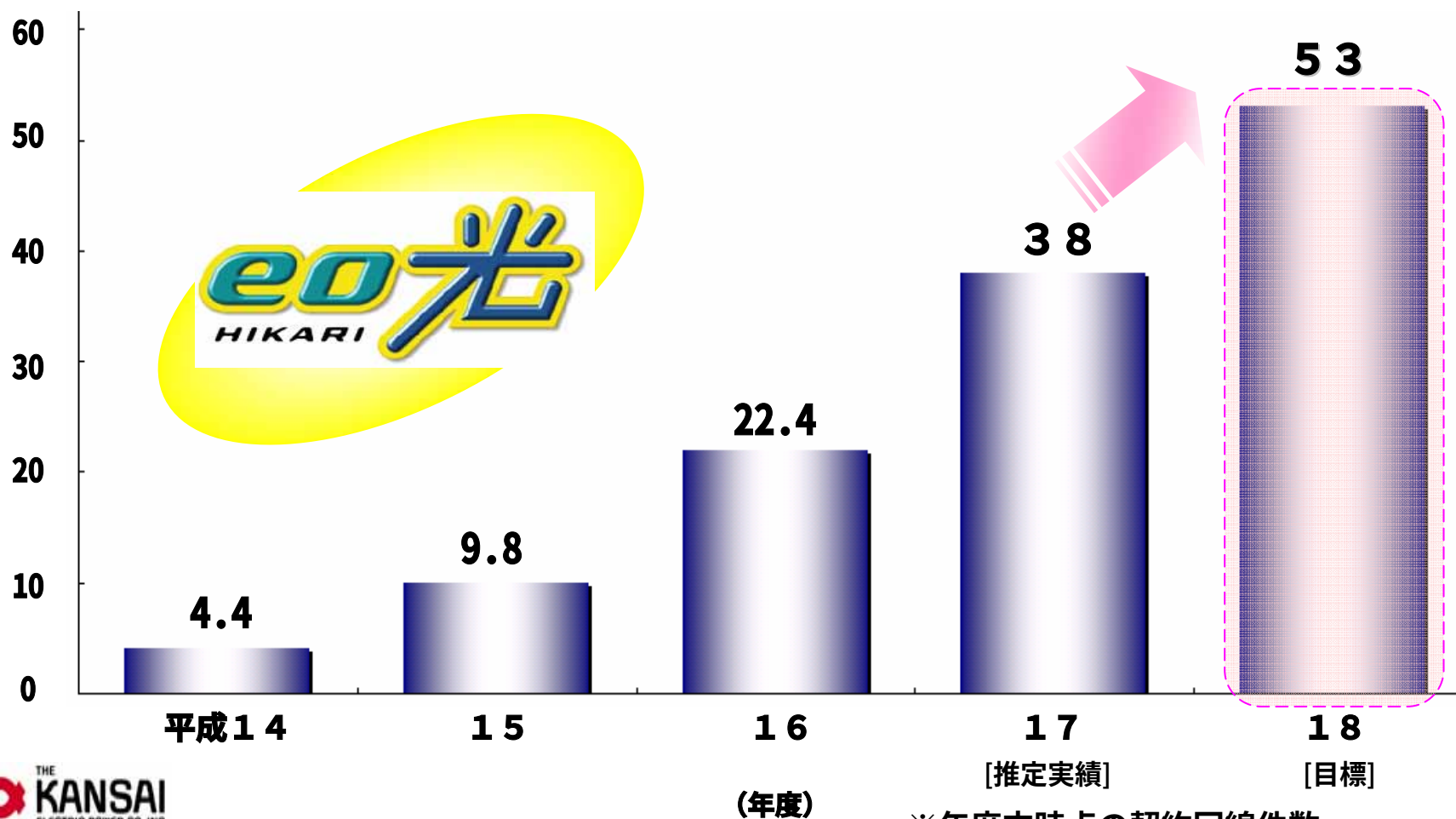
8



F T T Hの契約回線数は着実に増加しており、平成18年度末で53万件の獲得を目指します。

(万件)

F T T Hサービス



効果的なトータルソリューションサービスの提供

住宅関連事業の推進

全電化住宅の分譲・賃貸

住宅性能評価

電化機器の販売

リフォーム

生活関連サービスの展開

ホームセキュリティ

介護

決済

給食

健康管理支援

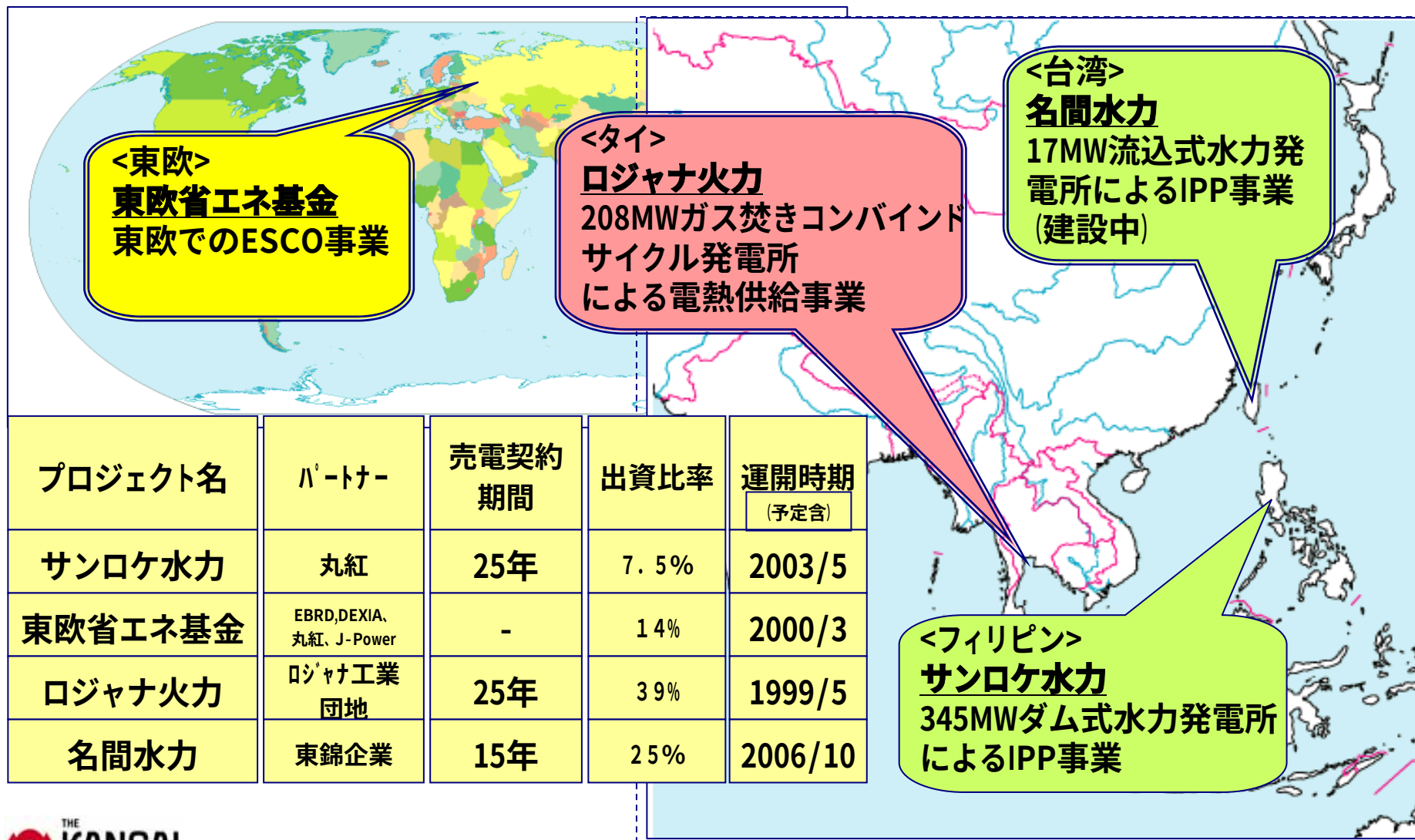
快適な住まいづくりをお手伝い

お客さまの生活との接点を強化

付加価値の高い生活環境づくり

全電化推進

電気事業に関する技術・経験の蓄瀬を活用し、収益性を重視した海外電力事業開発に積極的に取り組んでまいります。



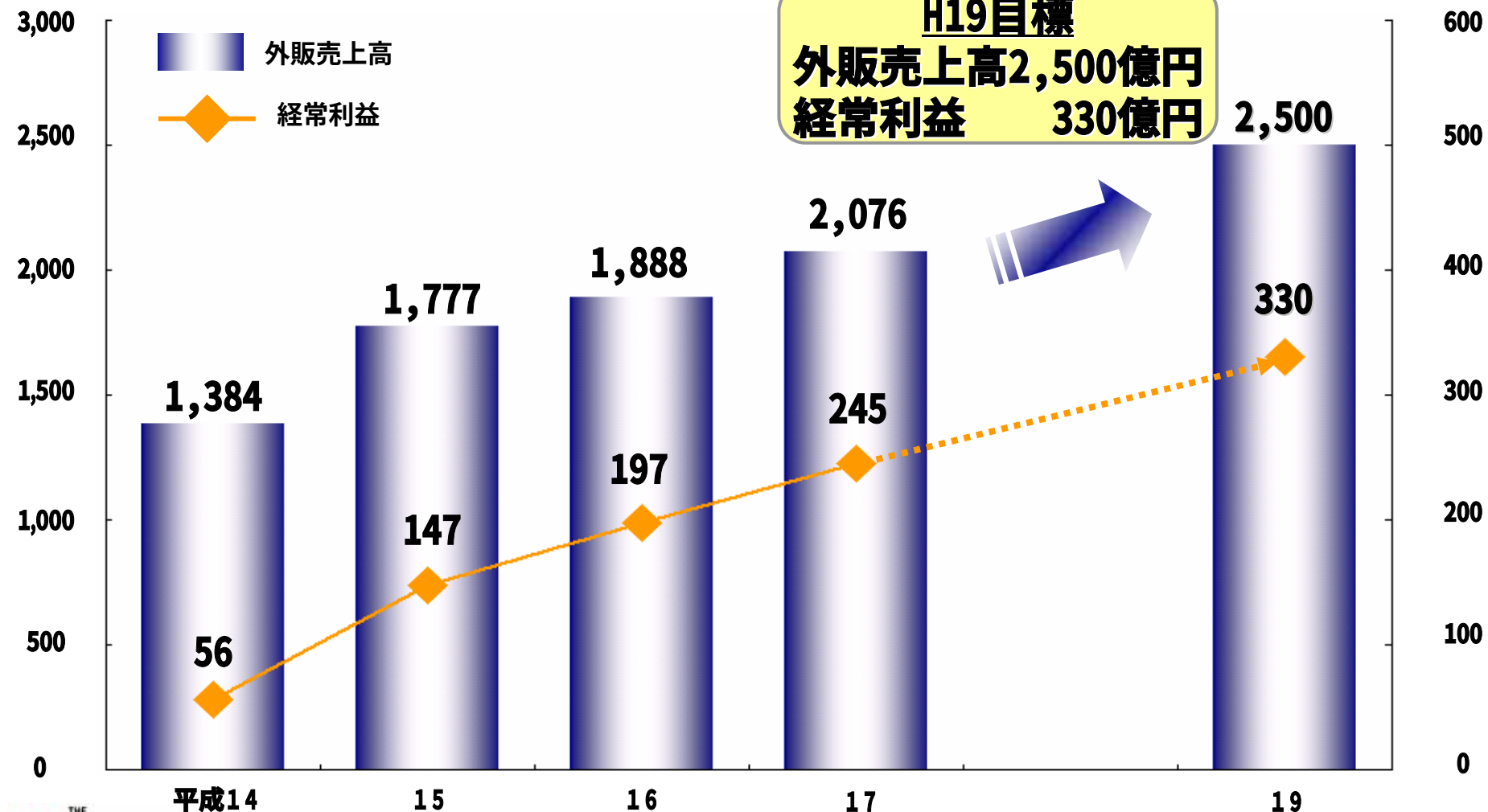
グループ一体となったお客さま価値の創造

グループ事業の外販売上高・経常利益

12

- 連結子会社、当社附帯事業（ガス、燃料販売）の単純合計
- 経常利益には、きんでんの持分相当額を含む

(外販売上高: 億円)



(自社開発分)

発 電 所 名	出力 (万kW)	運転開始	備 考
舞 鶴 2 号 (石炭)	9 0	22-8	工 事 中
堺港1号～5号 (LNG)	2 0 0	21-4～22-10	着工準備中
和 歌 山 (LNG)	3 7 0	28年度以降	着工準備中

(他社受電分)

発 電 所 名	出力 (万kW)	運転開始	備 考
敦 賀 (原子力) <日本原子力発電 (株)>	3号	1 5 3 . 8	関西・中部・北陸 三社で受電
	4号	1 5 3 . 8	
		26-3	
		27-3	

長期に亘り安定した需給の維持を図るため、適正な供給力の確保に努めます。

御坊発電所2号機を再稼動

長期計画停止機は需要の伸びに応じて順次再稼動

高砂発電所を廃止

長期計画停止機のうち、最も経済性に劣り、再稼動の可能性がないことから廃止を決定

バイオマス燃料の混焼

地球環境問題への取り組みの一環として、舞鶴発電所1号機において平成20年度からの実施に向け、計画を推進

○8月最大電力バランス

	H17 (実績)	18	19	20	21	22	27
需要 (万kW)	2,951	2,999	3,002	3,013	3,022	3,036	3,106
供給力計 (万kW)	3,377	3,296	3,276	3,276	3,296	3,354	3,484
供給予備率 (%)	14.4	9.9	9.1	8.7	9.1	10.5	12.2

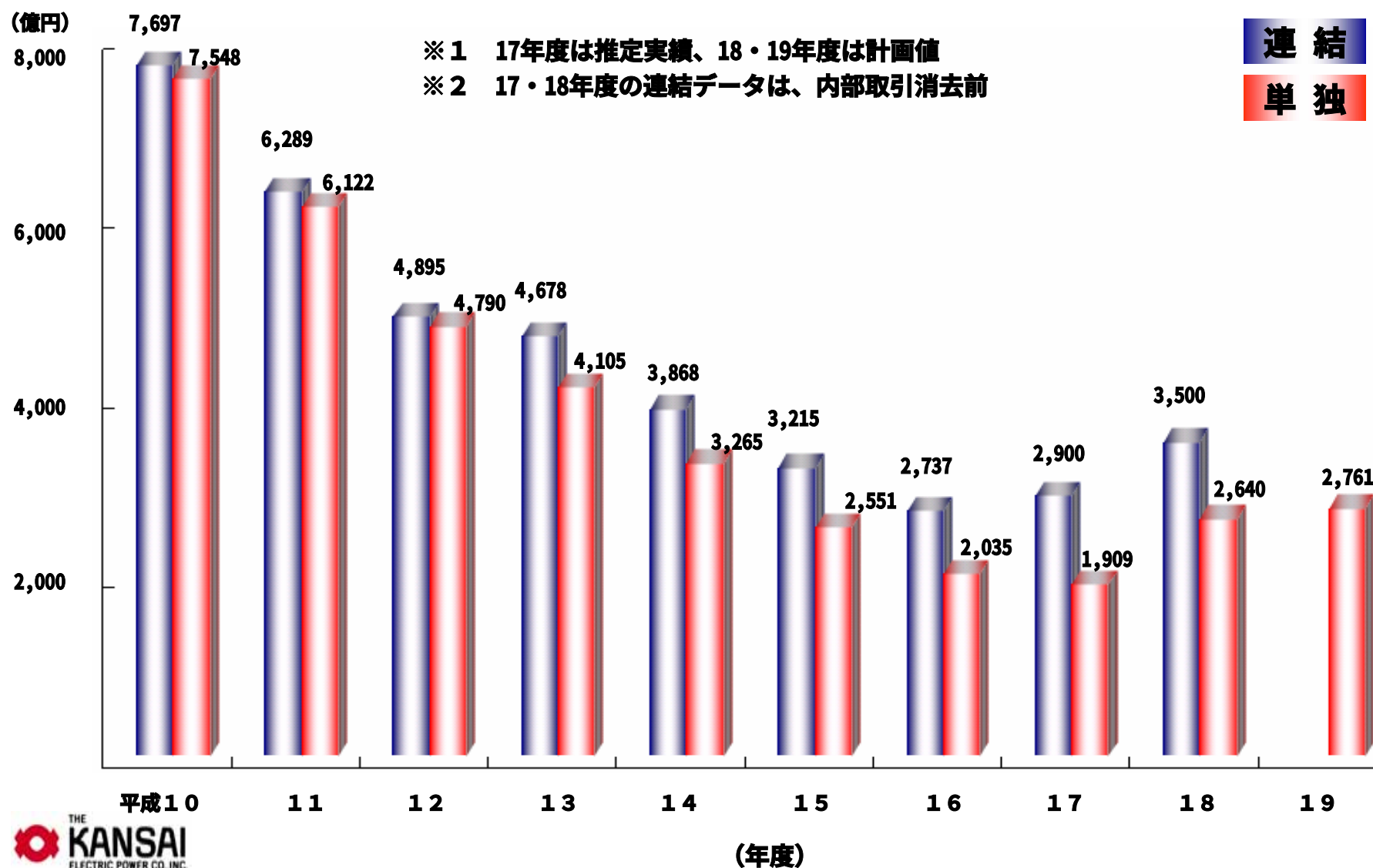
○長期計画停止対象ユニット（H18年度末）

発電所名	ユニット	出力 (万kW)
相生	2、3号	75.0
赤穂	1号	60.0
宮津	1、2号	75.0
海南	2、4号	105.0
多奈川第二	1、2号	120.0
計	9ユニット	435.0

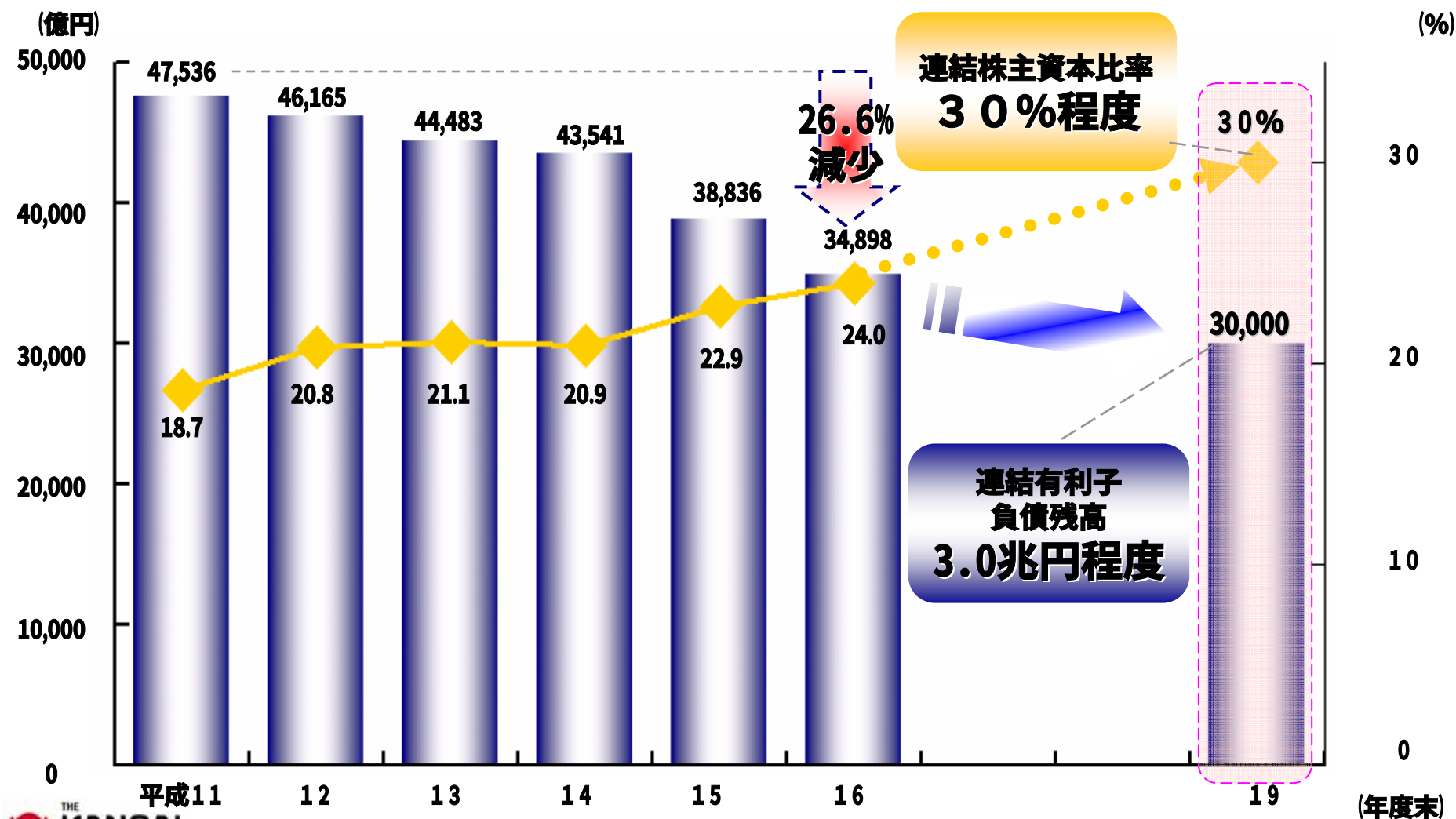
設備投資額の推移

15

安全の確保を最優先に、資産効率の向上を目指す一方、競争力強化に資する設備投資を積極的に実施。



2つの財務体質強化指標を設定し、平成19年度末での達成を目指します。



設備投資計画 (単独) —平成18年度経営計画

参 考

(億円)

		平成16年度	17年度	18年度	19年度
電 気 事 業	電源	414	323	993	923
	送電	237	255	363	433
	変電	144	168	230	306
	配電	282	289	296	304
	その他	170	158	195	214
	計	1,247	1,193	2,077	2,180
	原子燃料	731	668	468	492
	電気事業 計	1,978	1,861	2,545	2,672
附帯事業		57	48	95	89
総計		2,035	1,909	2,640	2,761

ご質問・お問い合わせ等は、下記までお願いします。

担 当： I Rチーム 谷口、岡野、平田

電話番号： 06－7501－0315

050－7104－1818 (谷口)

050－7104－1812 (岡野)

050－7104－1815 (平田)

F A X： 06－6447－7174

e - mail： taniguchi.hideaki@a2.kepcoco.jp (谷口)

okano.ryuji@e3.kepcoco.jp (岡野)

hirata.soichiro@a5.kepcoco.jp (平田)